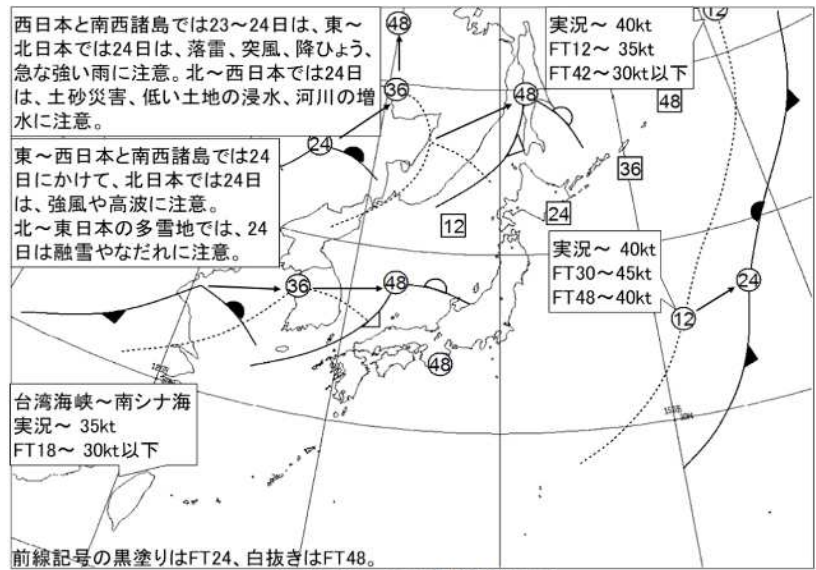


## 1. 実況上の着目点

- ① ベーリング海付近の低気圧から、前線が千島の東を通って小笠原近海にのびている。
- ② ①の前線や低気圧と大陸から日本海に中心を移した高気圧との間で、日本付近は西高東低の気圧配置となり、全国的に、やや強い風や強い風が吹いて波が高くなりしけている所がある。また、日本海西部と東海道沖は気圧の谷となっている。
- ③ 850hPaで-6℃以下の寒気が、西～東日本日本海側に南下。北～西日本日本海側では、1時間に2mmの雨を解析、北海道では3時間に5cmの降雪を観測。



主要じょう乱解説図

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 22日は、1項①の前線はカムチャツカの東～日本のはるか東～南鳥島近海に進み、1項②の高気圧が日本付近への張り出しを強め、西高東低の気圧配置は緩む。
- ② 23日は、日本海の高気圧は千島近海に移動、東海道沖の気圧の谷は西日本太平洋側に進む。500hPa 5040m以下の寒冷渦に対応して、前線を伴う低気圧が閉塞しながら中国東北区からアムール川中流域付近に進み、閉塞点が沿海州付近に進む。また、500hPa 5520m付近のトラフに対応する前線が朝鮮半島付近に進んで、夜までに前線上に低気圧が発生する。
- ③ 24日は、2項②の閉塞点上に朝までに発生する低気圧が、前線を伴いサハリン付近を北上、朝鮮半島付近の低気圧は、日本海を通して東北日本海側に進む。また、500hPa 5640m付近のトラフに対応して、朝までに紀伊半島付近に発生する低気圧が、伊豆諸島付近に進む。
- ④ 2項②～③の低気圧や前線及び気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、西日本と南西諸島では23～24日は、東～北日本では24日は、大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、北～西日本では24日は、雷を伴い強い雨や激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。
- ⑤ 2項①～③の西高東低の気圧配置や、低気圧や前線の周辺及び高気圧の南縁では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。東～西日本と南西諸島では24日にかけて、北日本では24日は、強風や高波に注意。
- ⑥ 24日は、2項③の低気圧や前線に向かって850hPaで平年差+10℃以上の暖かい空気が北～西日本に流れ込む。2項④の降水の影響も加わり、北～東日本の多雪地では、雪解けが進む。融雪やなだれに注意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島4、その他広い範囲で3m。

## 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。